

京都の禅僧、日系アメリカ人ヘンリー・ミトワズの一伝記。

禅と骨

Zen and Bones

監督・構成

中村高寛

プロデューサー

林海象

ナレーション

仲村トオル

ドラマパート出演

ウエンツ瑛士

余貴美子

利重剛 / 伊藤梨沙子 / チャド・マレーン / 飯島洋一 /
山崎潤 / 松浦祐也 / けーすけ / 千大祐 / 小田島浩 /
TAMAYO / 清水節子 / ロバート・ハリス
緒川たまき / 永瀬正敏 / 佐野史郎

2016年 / 127分 / HD 16:9 / S.1ch / 配給トランスフォーマー
助成：文化庁文化芸術振興費補助金 / アーツコミッション・ヨコハマ

BUSAN International Film Festival AICIF Asian Cinematist Fund ACY J-LOP+

粹人か？^{はたまた}変人か？

大ヒット作『ヨコハマメリー』の中村高寛監督が
11年ぶりに放つ渾身の長編ドキュメンタリー！



横浜生まれの日系アメリカ人禅僧ヘンリ・ミトワ。

枯淡の境地の人...と思いきや?

京都嵐山・天龍寺。世界遺産にも登録されているこの名刹に、一風変わった禅僧がいた。名はヘンリ・ミトワ。1918年、横浜でアメリカ人の父と新橋の芸者だった母の間に生まれた日系アメリカ人である。1940年、単身渡米。戦時中は敵性外国人として、日系人強制収容所で過ごした。戦後、ロサンゼルスで幸せな家庭を築き、1961年、帰国。時代の波に翻弄されながらも、日本文化をこよなく愛し、茶道・陶芸・文筆にも優れた才能を発揮したヘンリは、古都の多彩な文化人や財界人に囲まれ、悠々自適の晩年を楽しむ...はずだった。「赤い靴」をモチーフにした映画を作りたい!、80歳を目前に突如、追い求めた夢によって、家族や周辺の人々を巻き込み、彼が築き上げてきた「青い目の文化人」という地位から大きく逸脱していく...

ドキュメンタリー+ドラマ+アニメ

ジャンルを縦横無尽に駆け巡る異色作。

大ヒット作『ヨコハマメリー』の中村高寛監督が、8年の歳月を費やして完成させた待望の長編ドキュメンタリー第2作は、昭和を生きた、複雑で、胡散臭くて、滑稽で、愛おしい、ひとりの男の波乱に満ちた人生の物語。ドキュメンタリーの手法のみならず、ドラマ、アニメなど、様々なジャンルを駆けて巡りながら、ヘンリ・ミトワという人間に迫っていく。一篇の劇映画かと見紛うドラマパートでは、青年時代のヘンリをウエンツ瑛士、母親を余貴美子が演じ、他にも永瀬正敏、佐野史郎、緒川たまき、利重剛等、豪華な俳優陣が顔を揃える。挿入されるアニメーションのキャラクター原案は、人気漫画家 今日マチ子。ナレーションは仲村トオル。音楽面で、横浜ゆかりのエディ藩、横山剣(CRAZY KEN BAND)を始め、大西順子、岸野雄一、野宮真貴、コモエスタ八重樫他、錚々たるアーティストがサポートしている。

監督・構成・プロデューサー 中村高寛
 プロデューサー 林海象 / 制作プロデューサー 構成・編集 白尾一博 /
 協力プロデューサー 利重剛・藤岡朝子 / 撮影 中澤健介(JSC) /
 録音 倉貫雅夫 / 音響 菊池信之・藤林繁 / 企画+車両 松永賢治 /
 題字+デザイン 三宅宇太郎 / オープニングタイトル 福澤まり /
 アニメーション 朱彦潼・陳麗 / キャラクター原案 今日マチ子

[ドラマパート] 制作担当 宮下昇 / 撮影監督 小林甚己 / 録音 国分玲 /
 美術 江連亜花里 / 衣裳 笠本あり子 / メイク 鳥富節(juice)
 製作 大丈夫・人人 FILMS

キャスト ウエンツ瑛士 / 余貴美子
 利重剛 / 伊藤梨沙子 / チャド・マレン / 飯島洋一 / 山崎潤 / 松浦祐也 /
 けーすけ / 千大佑 / 小田島浩 / TAMAYO / 清水節子 / ロバート・ハリス
 緒川たまき / 永瀬正敏 / 佐野史郎
 ナレーション 仲村トオル

音楽 中村裕介×エディ藩・大西順子・今野登茂子・寺澤晋吾・武藤イザベル
 挿入曲「赤い靴」岸野雄一×重盛康平×野宮真貴 /
 「京都落情」岸野雄一×重盛康平×野宮真貴 /
 エンディング曲「母まで愛して」コモエスタ八重樫×横山剣(CRAZY KEN BAND)
 2016年 / 127分 / HD 16.9 / 5.1ch
 宣伝 ジェイフィルムズ・佐々木瑠都 / 宣伝イラスト 岡田成生
 配給 トランスフォーマー
 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 / アーツコミッション・ヨコハマ
 © 大丈夫・人人 FILMS

www.transformer.co.jp/m/zenandbones/
 Zen and Bones

監督コメント
 デビュー作は勢いで撮れるが、第2作は容易くない、と痛感している時、ヘンリ・ミトワと出会った。彼の「映画を撮りたい!」という強引ともいえる純粋な想いが、私の境遇と重なりカメラを回しはじめた。ゆえに本作は、禅僧の彼を紹介したり、禅の教えを説いた内容では全くない。では何故、「禅と骨」なのか? それは撮影中、ある住職の言葉が、この映画のスタイルを決める指針となったからだ。「どんな仕事をしていても、その道を極めていけば、すべては「禅」に通じていく」という。頭の中で何かが閃いた気がした。私は「映画」という道で、それをやればいいのかと。



9月2日(土)
 待望のロードショー!
 全国共通特別鑑賞券¥1,500(税込)発売中

JR 総武線・都営地下鉄大江戸線
 東中野駅より徒歩1分
ポレポレ東中野
 03(3371)0088
 www.mmjp.or.jp/pole2/

JR 京浜東北線 大森駅 東口 西友5F
キネカ大森
 03(3762)6000 www.ttcg.jp
 テアトルシネマグループ®

関内駅北ロイセザキモール内
 フックオフ隣り
横浜ニューテアトル
 045(261)2995
 yokohamanewtheatre.web.fc2.com/